国は、「民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律」(平成 11 年法律第 117 号)第 7 条第 1 項の規定により、島根あさひ社会復帰促進センター整備・運営事業の民間事業者を選定したので、同法第 8 条の規定により客観的評価の結果をここに公表する。

平成 19 年 3 月 30 日

法務大臣 長 勢 甚 遠

**島根あさひ社会復帰促進センター
整備・運営事業
民間事業者選定結果**

平成19年3月30日

島根あさひ社会復帰促進センター整備・運営事業 民間事業者選定結果
目次

1 . 事業概要	1
2 . 経緯	1
3 . 事業者選定方法	1
4 . 第一次審査	2
5 . 第二次審査	4
6 . 得点	8
7 . 審査講評	8

1. 事業概要

- (1) 事業名：「島根あさひ社会復帰促進センター整備・運営事業」
- (2) 事業場所：島根県浜田市旭町丸原
- (3) 事業内容：PFI事業（BOT方式）による刑務所施設の設計，管理，建設，維持管理・運營業務
- (4) 事業期間：事業契約締結の日の翌日から平成 38 年 3 月 31 日まで（約 20 年間）
- (5) 事業の実施：落札者は，特別目的会社を設立し，事業契約を締結し事業を実施する。

2. 経緯

民間事業者選定までの経緯は以下のとおりである。

実施方針の策定・公表	平成 17 年 6 月 30 日
特定事業の選定	平成 17 年 9 月 14 日
入札公告	平成 17 年 10 月 31 日
第 1 次審査（資格確認）受付	平成 17 年 11 月 28 日 ～平成 17 年 12 月 2 日
第 1 次審査結果通知	平成 17 年 12 月 9 日
第 2 次審査（入札・提案内容）受付	平成 18 年 2 月 20 日
入札参加者（2 グループが参加）のそれぞれを構成する民間事業者が競争参加資格を喪失したことにより入札不調となった。	
入札公告	平成 18 年 5 月 1 日
第 1 次審査（資格確認）受付	平成 18 年 6 月 26 日 ～平成 18 年 7 月 25 日
第 1 次審査結果通知	平成 18 年 8 月 1 日
第 2 次審査（入札・提案内容）受付	平成 18 年 9 月 1 日
開札・落札者の決定	平成 18 年 10 月 4 日

3. 事業者選定方法

(1) 事業者選定方法の概要

本事業の落札者の決定に当たっては，入札価格及び提案内容によって落札者を決定する総合評価落札方式を採用した。

また、審査は入札参加希望者の資格、実績等の有無を判断する「第1次審査」と、入札参加者の提案内容等を審査する「第2次審査」の二段階に分けて実施した。

なお、第1次審査は、第2次審査のための事業提案を提出できる有資格者を選定するためのものである。

(2) 事業者選定の体制

「島根あさひ社会復帰促進センター整備・運営事業事業者選定委員会」(以下「事業者選定委員会」という。)は、入札参加者からの事業提案を事業者選定基準に基づき評価し、得点を国に報告し、国はこれを受けて、提案内容評価の得点を決定し、これを入札価格で除して算定した総合評価値により、落札者を決定した。

(3) 事業者選定委員会

ア 審査事項

事業者選定委員会は、本事業の総合評価に関するもののうち、事業者を選定するための審査基準について審議するとともに、入札参加者から提出された第2次審査資料の内容の審査及び評価を行った。

イ 構成員

事業者選定委員会は、学識経験者等及び国の職員から構成された。事業者選定委員会の構成員は次のとおりである。

委員長 一橋大学大学院商学研究科長 山内 弘隆
委員 青森大学社会学部教授 見城 美枝子
委員 中央大学法学部教授 藤本 哲也
委員 共立女子大学家政学部教授 八木澤 壯一
委員 島根県東京事務所長 山根 徳久
委員 法務省大臣官房参事官(矯正担当)
委員 府中刑務所総務部長
委員 矯正研修所大阪支所教頭
委員 宇都宮少年鑑別所長
委員 八王子医療刑務所医療部長

4. 第1次審査

(1) 第1次審査の概要

入札参加希望者が、本事業の実施に携わる者として適正な資格と必要な能力を備えているか否かを審査したものである。

第1次審査の手順は次のとおりである。

ア 資格審査

入札説明書に定める資格の有無について審査を行う。

イ 実績審査

入札説明書に定める実績の有無について審査を行う。

ウ 事業計画の概要の審査

本事業についての基本的考え方が適切か否かの審査を行う。

(2) 応募状況

平成 17 年 7 月 25 日までに 2 グループの応募があり、すべてのグループについて競争参加資格を有することを確認し、平成 18 年 8 月 1 日に通知した。

競争参加資格を確認したグループは(3)のとおりである。

(3) 競争参加資格確認グループ

【島根あさひ大林組・ALSOKグループ】

構成企業：(株)大林組，総合警備保障(株)，日本電気(株)，丸紅(株)，(株)グリーンハウス，
(株)合人社計画研究所，イオンディライト(株)，コクヨ中国販売(株)，
株式会社ピーエイチピー研究所

協力企業：(株)山下設計，松下電器産業(株)，東レ(株)

主幹事行：(株)みずほコーポレート銀行

【あさひセコムグループ】

構成企業：セコム(株)，清水建設(株)，(株)日立製作所，(株)梓設計，(株)日本設計，
住金物産(株)，日清医療食品(株)，(株)日立ビルシステム

協力企業：(株)小学館プロダクション，セコムテクノサービス(株)，プラス(株)

主幹事行：(株)三菱東京UFJ銀行

5 . 第 2 次 審 査

(1) 第 2 次 審 査 の 概 要

総合評価落札方式により落札者を選定するため、入札参加者の事業提案の内容を審査したものである。

(2) 第 2 次 審 査 の 手 順

ア 事業提案審査

入札参加者からの提出された第 2 次審査資料(以下「事業提案」という。)の内容を審査する。

ア) 必須項目審査

事業提案が要求水準をすべて満たしているか否かについて審査を行い、審査結果において事業提案がすべての要求水準を満たしている場合は適格とし、一項目でも満たしていない場合は不合格とした。また、適格者については、基礎点 4 0 0 点を付与することとする。

イ) 加点項目審査

事業提案のうち国が特に重視する項目(加点項目)について、その提案が優れていると認められるものについては、その程度に応じて加点を付与することとした。各加点項目及び評価ポイント等詳細については「島根あさひ社会復帰促進センター整備・運営事業 事業者選定基準」(入札説明書添付資料。以下「選定基準」という。)を参照されたい。

ウ) 事業者選定委員会における採点・審査結果案作成

事業者選定委員会において、別紙の加点項目について優れた提案がされているかを審査し、各提案の採点を行う。事業者選定委員会は審査結果を国に報告する。

エ) 国による審査結果の決定・加点付与

国は、審査結果を基に、加点を決定し、ア)により付与された基礎点に加点を付与する。加点は全体で 6 0 0 点満点とした。

イ 開札

入札価格が予定価格の範囲内であるか否かを確認する。

すべての入札参加者の入札価格が予定価格を超過している場合には、再度入札を行う(事業提案の変更は行わない。)

ウ 総合評価

アの事業提案審査による各提案の得点及びイで予定価格の範囲内であることを確認した入札価格をもとに総合評価を実施し、落札者を決定する。同点の場合にはくじにより落札者を決定する。

(2) 加点項目の審査結果

選定基準に基づき，事業者選定委員会において加点項目の審査を行った。

基本方針

評価分類	配点	島根あさひ大林組・ALSOKグループ	あさひセコムグループ
官民協働の運営	4 4	3 7	2 8
地域との共生	5 6	5 2	3 1
人材の再生	3 8	3 7	2 2
合 計	1 3 8	1 2 6	8 1

事業計画

評価分類	配点	島根あさひ大林組・ALSOKグループ	あさひセコムグループ
1．出資構成・ガバナンス事業計画			
出資者の構成・事業者 のガバナンス体制等	1 2	8	8
2．リスク管理計画			
リスクに係わる提案（金 利変動リスクを除く。）	1 8	1 3	1 1
各種契約締結に係わる 提案	6	4	3
3．財務計画			
事業収支計画	1 2	7	7
資金調達・債務償還計 画	1 8	1 0	1 1
財務・資金管理方針， モニタリング手法	2 4	1 5	9
合 計	9 0	5 7	4 9

施設整備・維持管理計画

評価分類	配点	島根あさひ大林組・ALSOKグループ	あさひセコムグループ
1．受刑者の生活環境及び作業・教育環境			
生活環境	18	14	8
作業・教育環境	24	10	20
その他の機能	12	7	9
2．施設の保安機能			
共通事項	12	10	10
保安機能	12	5	7
3．施設機能の効率化			
機能と業務の効率化	6	5	6
円滑な移動の確保	12	8	8
4．地域特性に配慮した施設計画			
外観イメージ 社会性・地域性	18	15	14
5．施設のフレキシビリティ			
フレキシビリティ	12	6	7
6．その他の計画			
環境賦課の低減	6	5	5
その他	6	4	4
合 計	138	89	98

施設運営計画

評価分類	配点	島根あさひ大林組・ALSOKグループ	あさひセコムグループ
共通			
業務の実施体制	24	17	16
保安事故の防止及び事故発生時の対応	18	11	11
非常時の対応	6	6	5
1．総務			
領置事務支援業務	12	7	4
情報システム管理業務	18	15	12
2．収容関連サービス			
給食業務	18	15	15
衣類・寝具の提供業務	12	7	7
その他収容関連サービス業務	6	5	5
3．警備			
警備体制	24	18	17
連絡体制	6	5	5
4．作業			
刑務作業	18	16	7
職業訓練	12	10	2
特化ユニットの受刑者に対する作業提供	6	5	2
就労支援	6	6	6
5．教育			
教育企画業務	18	16	7
6．医療			
医療	12	7	3
7．分類			
分類業務	18	12	7
合計	234	178	131

6. 得点

(1) 入札参加者の得点

事業者選定委員会の審査結果を受け、国は入札参加者の得点（基礎点＋加点）を以下のとおり決定した。

島根あさひ大林組・ALSOKグループ

$$400 + (126 + 57 + 89 + 178) = 850 \text{ 点}$$

あさひセコムグループ

$$400 + (81 + 49 + 98 + 131) = 759 \text{ 点}$$

(2) 開札・総合評価

平成18年10月4日に開札・総合評価を実施した。

結果は下表のとおりであり、島根あさひ大林組・ALOSKグループを落札者として決定した。

入札参加者名	得点 (x)	入札価格(千円) (Y)	入札価格 予定価格	評価値 (X/Y) × 10 ⁹	適用
島根あさひ大林組・ALSOKグループ	850	87,844,613		9.676	落札
あさひセコムグループ	759	91,608,125		8.285	

7. 審査講評

(1) 総評

本事業は、刑事施設の整備・運営事業としてわが国で2番目のPFI方式によるものであるが、収容規模が第1号の刑務所PFI事業（美祢社会復帰促進センター整備・運営事業）の2倍であること、収容される受刑者の中には、人工透析を受ける必要がある者や身体障害を有する者、精神・知的障害を有する者など、処遇に特別な配慮を要する者が一部にいること、100名程度の受刑者に対し、刑務作業あるいは職業訓練として施設外での作業に従事させることなど、第1号の刑務所PFI事業に比べ要求水準の高い事業であるが、各グループの提案は、要求水準の充足だけに止まらず、これまで既存の刑務所では取り入れられていない革新的な内容が多数盛り込まれた、非常にレベルの高い提案であった。各グループを構成する企業の大部分が第1号の刑務所PFI事業にも入札参加し、その際に培われたノウハウが本事業の提案に遺憾なく発揮されており、困難な刑務所PFI事業に二度にわたり入札参加した各グループの熱意とその実力に多大なる敬意を払うものである。

上述のように、本事業については、要求水準の高い事業であり、また事業の範囲も非常に幅広いことから、入札参加グループとして、本事業をどのように位置付け、約20年もの事業期間にわたりどのような姿勢で臨むのかを明らかにするため、審査項目と

して「基本方針」を設け、本事業の主要な3本の柱である「官民協働の運営」、「地域との共生」及び「人材の再生」について、それぞれの基本的考え方について記載を求めた。その結果、各グループとも国として本事業に求めるものを的確に捉えていると見てとることができたが、あさひセコムグループに比べ、島根あさひ大林組・ALSOKグループの方がグループとしての本事業への取組の方針が明確に示され、それが構成企業・協力企業間で共通認識されており、各企業が担当する業務に係る提案に具体的に反映されているという印象を受けた。

「事業計画」については、両グループとも不測の事態が生じた場合であっても迅速に意思決定できる体制を構築し、安定的な業務遂行に資する資金調達を行う提案となっており、リスクについても、幅広くかつ精緻に分析されその対応策について具体的に検討されていた。

「施設整備・維持管理計画」については、島根あさひ大林組・ALSOKグループが、受刑者の生活環境を重視した施設計画になっているのに対し、あさひセコムグループについては、運営の効率性を追求した施設計画になっていた。とりわけ、島根あさひ大林組・ALSOKグループについては、地域と永続的に共生しながら社会復帰支援コミュニティを形成する場を目指し、各種地域開放施設を設置する提案をしており高い評価を得たが、一方、施設運営計画で提案されている多様な教育プログラムに対応できるだけの数の教室がないのではないかと懸念も示された。また、ユニット構成について、犯罪類型別とする提案がなされており、これにより充実した教育活動が展開できると考えられるものの、運用の実態を勘案すると、約18年間の運営期間にわたり提案どおりのユニット構成を維持できるかどうかの予測は困難であることから、どのようなユニット構成であっても柔軟に対応できる施設計画であることが望ましいとの指摘があった。

「施設運営計画」については、各グループとも、幅広い業務領域に対応できるだけの業務実施体制を構築し、総務業務、警備業務及び収容関連サービス業務の各業務についても、それぞれのグループのノウハウが凝縮された優れた提案であった。とりわけ、島根あさひ大林組・ALSOKグループにおいては、地域の特徴をよく踏まえた地域との共生に資する多種多様な作業や、出所後の就労に資する効果的な職業訓練を提案しており、教育についても、教育と分類を一体化させた実施体制の構築や、自然や動物を活用した様々な処遇プログラムなど、先進諸国の矯正施設と比べても決して見劣りのしない優れた提案がなされた。また、SPCから維持管理・運営業務を包括受託する運営専門会社を設立するという提案がなされているが、これについては、現場実態に即した迅速かつ柔軟な対応ができるなど、肯定的な評価がある一方で、国が締結する事業契約の相手方はあくまでSPCであり、事業契約締結の過程において、運営専門会社の位置付けや維持管理・運営業務を行う上での責任の所在など、明確にすべき事項があるとの指摘があった。

現在、本事業に続き、維持管理・運営業務に特化した新たな2つの刑務所PFI事業の計画が進行しているところであるが、民間企業の高いノウハウが、今回にも増して発揮された提案を期待したい。

(2) 項目別評価

各入札参加者の主な提案内容に対する講評，評価のポイントは，以下のとおりである。

島根あさひ大林組・ALSOK グループ

【基本方針】

評価分類	講評・評価されたポイント
官民協働の運営	・官民の責任分離の明確化及び運営の効率化の観点からの具体的な提案がなされており，とりわけ，運営の質の向上・維持のための協議体の設置や，運営専門会社の設立など，民間のノウハウの活用・蓄積，官民協働で業務を行うことによる質の向上の観点からの優れた提案であるとの高い評価を得た。
地域との共生	・地域経済の活性化や地域交流の促進，地域住民の理解の促進の観点からの具体的で多様な提案がなされており，とりわけ，地域の資源を十分に活かし，新たな産業の創出にも結びつく優れた提案であるとの高い評価を得た。
人材の再生	・多様な処遇プログラムの実施など，施設内における受刑者の改善更生策のみならず，民間のネットワークを活かした就労支援システムの構築や，特化ユニットのための社会内処遇施設の提案等，受刑者の出所後のアフターケアについても踏み込んだ提案であるとの高い評価を得た。

【事業計画】

評価分類	講評・評価されたポイント
1．出資構成・ガバナンス事業計画	・SPCとは別に運営専門会社を設立しSPCの運営業務を包括して受託する体制は，多岐に亘る運営業務間の調整の円滑化等が期待される点について高い評価を得た。一方で，不測の事態発生時の意志決定，行動等が迅速かつ適切に可能であるかどうかについて懸念される面も指摘された。
2．リスク管理計画	・各リスクに対する予防策及び対応措置について，第三者による検証を含めた具体的な検討が加えられている点，及び各業務委託契約案において詳細なリスク分担がきめ細かく整理されている点が高い評価を得た。
3．財務計画	
事業収支計画	・修繕費用に係る資金調達について適正な措置がなされている点及び不測の事態発生時における資金充当の考え方について高い評価を得た。
資金調達・債務償還計画	・事業内容に応じた多様な調達条件を具体的に設定し，資金計画の安定性確保を図っている点について高い評価を得た。
財務・資金管理方策，モニタリング手法	・多様な事態を想定した資金管理方策について高い評価を得た。 ・モニタリングの実施方法及び問題発生時に対応する体制についての提案が具体的で優れているとの評価を得た。

【施設整備・維持管理計画】

評価分類	講評・評価されたポイント
1．受刑者の生活環境及び作業・教育環境	
生活環境	・利用性に富んだ外部空間についての優れた提案であるとの評価を得た。
作業・教育環境	・収容棟と職業訓練棟の受刑者動線について、ユニット間の動線が交錯しない優れた施設計画であるとの評価を得た。 ・職業訓練棟に食堂を設けず、収容棟の多目的ホールを食堂として利用する計画であったが、職員配置上の問題から評価は得られなかった。
2．施設の保安機能	
・従来のコンクリート製外塀に代え、トリプルフェンスとIT技術を活用した多重の保安構造を取り入れ、周囲の景観も配慮に入れた優れた提案であるとの評価を得た。	
3．施設機能の効率化	
・一つの監視ポイントでより多くの受刑者監視を可能にするなど、機能集約による効率化についての優れた提案であるとの高い評価を得た。 ・運動場や面会室、医務室への受刑者動線について、ユニット間の交錯をなくす優れた提案となっていたが、ループ状の渡り廊下を採用していることから、動線の短縮化という観点からは高い評価は得られなかった。	
4．地域特性に配慮した施設計画	
・石州瓦や県産材を活用し、地域に受け入れられやすい外観イメージを演出しているものの、施設全体としてボリューム感があると指摘された。 ・子育て支援施設や盲導犬育成施設など、新しい社会復帰支援コミュニティの形成に係る優れた提案であるとの高い評価を得た。	
5．施設のフレキシビリティ	
・職業訓練棟については、長方空間としており、用途に応じた拡張・縮小の変更がさほど多様ではないと指摘された。	
6．その他の計画	
・バイオマスエネルギーの活用について、優れた提案となっているとの評価を得た。	

【施設運営計画】

評価分類	講評・評価されたポイント
共通	
業務実施体制	・地元の人材を積極的に活用するための各種団体との協力体制構築や離職率を下げるための福利厚生充実など優れた提案であるとの高い評価を得た。 ・本事業の理念・基本方針を周知し、その共有化を図るため、外部講師を活用するなど充実した研修計画であるとの評価を得た。 ・運営専門会社による、業務領域が不明確な業務への対処について高い評価を得た。
保安事故、自然災害等への対応	・IT技術を活用した万全な警備体制を構築するとともに、事故発生時に迅速に対応できるようマニュアルを整備し、訓練を実施するなど優れた提案であるとの評価を得た。 ・非常時におけるライフラインを十分に確保するとともに、地域開放ゾーンを地域住民のための緊急避難場所等の防災拠点とするなど優れた提案であるとの評価を得た。
1．総務	
・領置物の受け渡しは、受刑者自身がKIOSK端末に入力することにより行うなど、領置物の効率的な出納・保管に資する優れた提案であるとの評価を得た。 ・位置情報把握システムについて、ハイブリッド・タグを活用し、受刑者に過度な負担を与えることなく、位置情報把握の確実性を損なわない装着方法であるとの評価を得た。	

2 . 収容関連サービス
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域食材を広く豊富に取り入れるなど食事内容に工夫を講じるとともに、施設外で作業する受刑者や特区ユニットの受刑者が快適に食事ができるよう、提供方法について優れた提案であるとの評価を得た。 ・ 2,000 名の受刑者に効率的かつ迅速に配下膳できるよう工夫を講じるとともに、クックチル方式を採用することにより食中毒の防止を図るなど、優れた提案であるとの評価を得た。 ・ 受刑者の衣類について、特化ユニットの受刑者に配慮した優れた提案であるとの評価を得た。
3 . 警備
<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設外で作業する受刑者の逃走防止策として、GPSによる位置情報の確実な把握と、逃走した場合には、警備担当企業による迅速なバックアップが受けられる体制を構築するなど、優れた提案であるとの評価を得た。 ・ 最新の検査機器を活用した 国の職員が行う受刑者の身体検査の負担軽減のための方策など、国の業務負担の軽減に資する優れた提案であるとの高い評価を得た。
4 . 作業
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元の力を借りながら継続的に作業提供する体制を整え、2,000 名を大幅に上回る作業を準備するなど優れた提案であるとの高い評価を得た。 ・ 地域の豊富な自然や一次産業を活用し、受刑者に四季を通じて自然に親しむ心をかん養する作業や近隣の農林水産業の振興支援に直結する作業など非常にバラエティに富んでいるとの高い評価を得た。 ・ 職業訓練について、労働需要を勘案した豊富な科目を準備するとともに、特化ユニットの受刑者についてはセラピー効果を得ることを目的に豊富な農作業を準備するなど優れた提案であるとの高い評価を得た。
5 . 教育
<ul style="list-style-type: none"> ・ 分類調査結果を教育処遇に反映させる効果的な組織体制に関する優れた提案であるとの高い評価を得た。 ・ 特化ユニットの受刑者に対しては、アニマルセラピーや園芸活動など効果的で多様なプログラムの提案がなされているとの高い評価を得た。
6 . 医療
<ul style="list-style-type: none"> ・ インストラクターと専門スタッフ、管理栄養士、医師の協働体制による健康維持を図るとともに、運動プログラムだけでなく、ストレス解消や精神安定に効果のあるプログラムに積極的に取り組むなど優れた提案がなされているとの評価を得た。
7 . 分類
<ul style="list-style-type: none"> ・ 分類事務支援システムの開発により、効果的かつ効率的な実施体制を構築するなど優れた提案がなされているとの評価を得た。

あさひセコムグループ

【基本方針】

評価分類	講評・評価されたポイント
官民協働の運営	・ 運営の効率化及び民間のノウハウの活用・蓄積の観点からの具体的な提案がなされており、とりわけ、業務領域が不明確な業務発生の場合には、まず代表企業が対応するなど、官民の責任分離の明確化の観点からの優れた提案であるとの高い評価を得たが、官民協働で業務を行うことによる質の向上の観点からの具体的な提案は見られなかった。
地域との共生	・ 地域経済の活性化や地域交流の促進、地域住民の理解の促進の観点からの具体的で多様な提案がなされているが、新たな産業の創出に結びつく具体的な提案は見られなかった。
人材の再生	・ 受刑者の出所後の雇用枠の確保など、就労支援に係る優れた提案がなされたものの、特化ユニットを含む受刑者の改善更生に資する優れた提案は見られなかった。

【事業計画】

評価分類	講評・評価されたポイント
1．出資構成・ガバナンス事業計画	・ 設計から運営までの主な業務を行う各者による出資構成のバランスが優れているについて高い評価を得た。
2．リスク管理計画	・ 各リスクに対する予防策及び対応措置について、第三者による検証を含めた具体的な検討が加えられている点について高い評価を得た。
3．財務計画	
事業収支計画	・ 修繕費用に係る資金調達及びコスト変動に対する備えについて適正な措置がなされている点について高い評価を得た。
資金調達・債務償還計画	・ 事業内容に応じた多様な調達条件を具体的に設定し、資金計画の安定性確保を図っている点について高い評価を得た。
財務・資金管理方策、モニタリング手法	・ 多様な事態を想定した資金管理方策について高い評価を得た。

【施設整備・維持管理計画】

評価分類	講評・評価されたポイント
1．受刑者の生活環境及び作業・教育環境	
生活環境	・外部空間を設けているが、利用度が低いのではないかと指摘された。
作業・教育環境	・職業訓練棟に屋外作業エリアを設け、多様な作業が可能な優れた施設計画であるとの評価を得た。 ・ユニット単位で作業室及び教室を配置するなど、多様な作業及び教育が可能な優れた施設計画であるとの評価を得た。
2．施設の保安機能	
・中央監視室の機能を複数化するなど、効果的かつ効率的な保安構造となっているとの高い評価を得た。 ・従来のコンクリート製外塀に代え、3重のセキュリティラインで構成されるセキュリティベルトを設け、従来の刑務所と同等以上のセキュリティレベルを確保しつつ、周囲の景観も配慮に入れた優れた提案であるとの評価を得た。	
3．施設機能の効率化	
・一つの監視ポイントでより多くの受刑者監視を可能にするなど、機能集約による効率化についての優れた提案であるとの高い評価を得た。 ・廊下を2層構成とし、廊下の適所に待機スペースを設けるなど、受刑者の動線交錯をなくするための工夫が講じられているとの評価を得た。	
4．地域特性に配慮した施設計画	
・施設全体をコンパクトにまとめ、ボリューム感を与えないようにするとともに、明るくソフトで落ち着いたあるアース色を基調とした色彩計画とするなど、周辺環境と調和した優れた施設計画であるとの評価を得た。	
5．施設のフレキシビリティ	
・各ユニットに設けられた作業室及び教室は、一体的に利用することも可能にするなど、訓練科目に応じた柔軟性のあるレイアウトになっているとの評価を得た。	
6．その他の計画	
・バイオマスエネルギーの活用について、優れた提案となっているとの評価を得た。	

【施設運営計画】

評価分類	講評・評価されたポイント
共通	
業務実施体制	・給食業務について、厨房設備や調理方法を工夫することにより、作業の安全性を高めるとともに平準化を可能とし、勤務者の負担を軽減するなど、継続的な雇用の確保のための優れた工夫を講じているとの評価を得た。 ・総務業務に警備員有資格者を配置することにより、非常時の際の安全確保のバックアップ体制を講じていることについて評価を得た。
保安事故，自然災害等への対応	・受刑者の主要動線に物理的に交錯を防止するための設備を設けるなど，保安事故防止のための優れた提案であるとの評価を得た。 ・保安事故，自然災害発生時の職員体制についても優れた提案がなされているとの評価を得た。
1．総務	
・領置物の受け渡しは，受刑者自身がタッチパネル式オーダーリングシステムに入力することにより行うなど，領置物品の効率的な出納・保管に資する優れた提案であるとの評価を得た。 ・位置情報把握システムについては，ハイブリッド・タグを活用し，受刑者に過度な負担を与えることなく，位置情報把握の確実性を損なわない装着方法であるとの評価を得た。	
2．収容関連サービス	
・咀嚼や嚥下の障害のある受刑者のために特別な調理方法を実施するなど，特化ユニットの受	

<p>刑者に配慮した食事内容となっているとの評価を得た。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2,000 名の受刑者に効率的かつ迅速に配下膳できるよう工夫を講じるとともに、ニュークックチル方式を採用することにより食中毒の防止を図るなど、優れた提案であるとの評価を得た。 ・ 受刑者の衣類について、特化ユニットの受刑者に配慮した優れた提案であるとの評価を得た。
<p>3 . 警備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施設外で作業する受刑者の逃走防止策として、GPS等を活用した位置情報の確実な把握を行うなど、優れた提案であるとの評価を得た。 ・ 中央監視室の機能を複数化して効率的かつ効果的な目視による監視を行うことにより、保安事故に迅速に対応できるなど優れた提案であるとの評価を得た。
<p>4 . 作業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地元の力を借りながら継続的に作業提供する体制を整えるなど、優れた提案であるとの評価を受けた。 ・ 施設外農林業や施設内農園芸に関する具体的な提案がなされていないと指摘された。 ・ 職業訓練について、受刑者の出所後の就労に結びつくような科目の提案があまりないと指摘された。
<p>5 . 教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 業務を受託している第1号刑務所PFI事業のノウハウを活かした実現可能性の高い教育活動の展開が期待されるなどではあるが、多様性がないと指摘された。
<p>6 . 医療</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医師だけでなく、専門スタッフや管理栄養士を含めたチームにより健康改善を推進するとともに、食を中心とした健康増進プログラムを実施するなど優れた提案であるとの評価を得た。
<p>7 . 分類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第1号PFI刑務所との連携によるインターン制度の導入など、職員の能力向上・維持を図る体制が講じられているとの評価を得た。